

令和7年8月20日

報道関係者各位

国立大学法人筑波大学  
国立研究開発法人産業技術総合研究所

国立大学法人筑波大学と産業技術総合研究所量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センター（G-QuAT）が量子・AI融合計算技術および量子HPC連携技術に関する連携協定を締結

2025年8月20日、国立大学法人筑波大学（学長：永田 恭介、副学長・理事（研究担当）：遠藤 靖典）と、国立研究開発法人産業技術総合研究所（理事長：石村 和彦）量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センター（センター長：益 一哉）は量子・AI融合計算技術および量子HPC連携技術に関する連携協定を締結しました。

本協定は、筑波大学計算科学研究センターと量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センターに構築される計算機環境を通じて、量子・AI融合計算技術および量子HPC連携技術の発展、それを担う人材の育成について、連携及び協力を推進することにより、我が国の産業技術の振興に寄与することを目的としています。

本協定により、量子コンピュータとスーパーコンピュータを融合した次世代の計算基盤が構築されるとともに、AIおよび科学計算を活用した革新的なアプリケーションの開発を通じて、多様なユースケースの創出が期待されます。

両機関の協力体制が強化されることにより、今後ますます加速する量子技術の産業化の取り組みにおいて、新たな技術的展開や市場創出が期待されます。



(本件問合わせ先)

国立大学法人筑波大学

計算科学研究センター 事務

E-mail : [jccs\\*un.tsukuba.ac.jp](mailto:jccs*un.tsukuba.ac.jp) (\*を@に変更して使用してください。)

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

量子・AI 融合技術ビジネス開発グローバル研究センター 企画室

E-mail : [M-G-QuAT-plan-ml\\*aist.go.jp](mailto:M-G-QuAT-plan-ml*aist.go.jp) (\*を@に変更して使用してください。)